

長岡税務署管内税務団体連絡協議会 会長賞 優秀

自分と家族を守るもの

長岡凜晴高等学院

三年 田村 叶

税金という言葉を知った時、私が最初に思いついたのは「無駄な支出を減らすこと」だ。なぜなら、私は電車や新幹線をよく利用するから。特に高校に入ってから、通学の際に電車を利便的に使っています。友達と遊びに行く時にも、交通手段として税金の使われ方を知りたいと思いました。そこで、国税庁ホームページの「税の学習コーナー」を見て考えました。

税金の使われ方について、身近なところで使われている、三つのことが説明されていました。

一つ目は、病気がなった時の医療費です。私達が病院で受ける診察代や薬代の一部を補助するために使われています。このおかげで医療費の自己負担が軽減され、お年寄りや体調が悪い人が安心して医療サービスを受けられるようになりました。

二つ目は、年金です。年金は、老後の生活を安心して生活できるようにするためのお金で、その一部は税金で支えられています。働いている人達が払う保険料

と税金が一緒になって、年金が支払われています。だから、税金のおかげで、安心して老後を過ごせるようになったという事です。

三つ目は、介護です。介護費用の一部は税金でまかなわれています。これにより、高齢者や障害者が必要なおかげで、介護施設や保険制度も運営されて、私達が安心して介護を受けられます。

ここまで調べた中で、私が一番興味を持ったのは介護でした。なぜなら介護は、自分や家族にとって必要なものだからです。

高校二年生の冬頃に、おばあちゃんがくも膜下出血で入院しました。コロナが流行ってからはお見舞いに行くことも出来ず、とても心配しました。ですが、それ以上に退院した後、後遺症が残っていたので、リハビリが必要でした。そんな時に、デイサービスでリハビリも含めた介護サービスを利用しました。

介護サービスのおかげで、後遺症も改善し元気になりました。おばあちゃんとは別々で暮らしていましたが、介護施設のSNSを通じて、元気な姿も見る事が出来ました。

もしこの制度がなかったら、おばあちゃんは後遺症で辛い生活をしていたかもしれません。このことから、自分や家族が高齢になった時の介護は必要なため、それを支える税金の仕組みは、とても大切なものだと思います。

税の作文を書くことを通じて、私は税金と介護との関係を改めて知ることができました。

私達の生活を支えるために、税金がどのように使われているのか、これからはテレビで最新のニュースを通じて、学んでいきたいです。